

第1回 果樹研究部開放講座報告

4月25日(土)に第1回開果樹研究部放講座「果樹栽培をとおして旬を味わおう」を実施しました。

はじめに、4月～9月までの全4回の交流会で、どのような体験をしていただくのか質問を交えてプロジェクターを使って説明しました。皆さん積極的で、作業に関するクイズに元気よく手を挙げてくださいました。続いて、今回体験いただくモモとナシの花摘み作業についても、プロジェクターを使ってその意義や方向を説明しました。こちらも、参加者の皆さんとの距離を縮めるため、途中にクイズを入れました。同様に積極的に手を挙げてくださり、和気あいあいといった雰囲気の交流会となりました。

その後は班ごとに分かれて自己紹介を行い、当日大会等で講座に参加できなかった3年生が参加者の皆さんの顔を覚えるため、一緒に写真を撮りました。果樹園に移動しての花摘み作業では、自宅で果樹を栽培されている方や果樹栽培に対して非常に高い関心をお持ちの皆さんにご参加いただいているため、作業の実演の際にも積極的に質問をしてくださり、私たち高校生にとっても大変学ぶことの多い充実した会となりました。

交流時間はあっという間に過ぎ、最後に次回の交流内容について説明し、次回の再会を楽しみにしながら交流会を終了しました。次回は6月13日に、ブドウの第2回ジベレリン処理と粗摘粒、ジャムづくりを体験していただきますので楽しみにしててください。



プロジェクターを用いた年間交流内容説明



班ごとに記念撮影



モモの花摘みの説明



二ホンナシの花摘み作業